

# 「いつまでも輝き続ける島」 笠岡諸島

NPO法人かさおか島づくり海社(岡山県笠岡市)

## 活動地域の概要

岡山県の西南端にある笠岡市は、南部は瀬戸内海に面し、西は広島県に接しています。その沖の瀬戸内海に浮かぶ笠岡諸島は、30 有余の島を飛石状に連ねて香川県に接しており、このうち、高島、白石島、北木島、大飛島、小飛島、真鍋島、六島の 7 島が、人々が生活する有人島で一部離島の市町村では全国トップクラスの有人島保有市です。昭和 30 年代の最盛期には全島合わせて 10,000 人余りの人口が現在はずか 2900 人と 3 分の 1 以下に激減、高齢化率も 55% と少子高齢化の先進地といえる地域です。



笠岡諸島全景

## 活動の背景・経緯

笠岡市にとって島嶼部の過疎高齢化は大きな行政課題であると同時に、島には陸地部では失いかけた自然と人情が残っており、大きな宝ともいえる存在でした。島の活性化を図るためには個々の島が自らのことばかり考えていたのでは全体の発展がないとの教訓から、島同士の連携を密にするために島民有志の発案により平成 10 年から 6 島合同の「島の大運動会」を開催、行政もそれに合わせ平成 13 年 4 月から島専属の市の応援部隊「島おこし海援隊」組織し、島に本拠を置き住民と共に汗を流しながら島づくりを進めていく体制づくりを行いました。平成 14 年には 6 島のそれぞれの特徴を活かしながら島おこしの島民組織「電脳笠岡ふるさ島づくり海社」を設立、平成 18 年 9 月に法人格を取得し「NPO 法人かさおか島づくり海社」と改称し現在に至っています。

## 行政と地域との協働事業の推進

島づくり海社の活動は行政の守備範囲と重なる部分が多くあります。離島という地理的に隔絶された地域は行政任せにしていると物事が前進しないだけでなく、極端に言えば生命にもかかわる問題にもつながるといって危機感を持っています。かえって、それが島の自立性を養成しており、島の運動会により島同士の連携が図れ、問題の解決策として島民の動きが出てきたともいえます。島民の活動に刺激され、行政も島に海援隊という粋な名前の職員を希望制で 3 名配置し、市長は隊員に「島民になれ」との命令を發したようです。行政と住民とが共に汗を流して地域を良くしたいという「情熱」が島づくり海社という組織でまとまった形になり数々の事業を組織的に展開することにより問題解決を図っています。

## 本社事業 空家対策事業

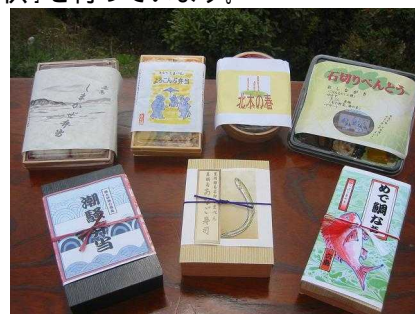
平成 14 年に高島支社の事業としてスタート。平成 15 年に 4 物件を基に 1 ターン者を募集。マスコミの助けもあり 3 ヶ月で空家が埋まりました。その後、「団塊の世代の田舎暮らし志向」もあいまって北木島・真鍋島・白石島に事業が広がり、平成 19 年 10 月現在 21 世帯 46 人の 1 ターン者を島に受けいれています。高齢化の著しい島の空家対策は地域を維持する人材の確保のみならず、仕事を作った若年世帯の移住もあり、小中学校の子供の確保にも大きく貢献しています。



平成 16 年に開催した「空家めぐりツアー」

## しまべん事業

島の特徴としての「海の食材」をアピールして観光の資源とすると共に地域の食のサービス向上を目的に、「島の人」「島の食材」「島で作る」お弁当を開発。名づけて「しまべん」。笠岡諸島 6 島がそれぞれの島の食材をふんだんに使い、島の特産品として陸地部のアンテナショップや各種イベントで定期的に販売しています。また、特に真鍋島では空家対策事業で 1 ターンされた方が職として「しまべん」づくりを行い、島での食のサービス維持のために「福祉的に島の高齢者への給食サービス」や「観光客への昼食の提供」を行っています。



6島の島の素材で作った「しまべん」

## 医療・福祉分野での取り組み

北木島支社ではNPO取得により、認可を受け平成 18 年 10 月より過疎地有償運送事業(タクシー事業)を展開し、大きい島での高齢者の足の確保を進めると共に、平成 19 年 2 月には、介護保険事業への参入を行いNPOによる通所介護事業所海社デイサービス「ほほえみ」を開所し、高齢者福祉の向上に貢献しています。また、六島では平成 15 年に児童の減少により小学校が休校したが、18 年に就学前児童が 4 名出来たのに伴い幼稚園の設立要望があり、NPOとの協働により市から委託を受ける形で就学前の保育とし「あゆみ園」を設立、翌 19 年にはそのうち 1 名の児童が新 1 年生に上がり六島小学校が 5 年ぶりに再開しました。

## 各島で廃校を活用し、地域の資源に再生

北木島では平成13年に廃校になった旧北木小学校の空き校舎を利用して、平成17年から中学校の夏季研修の受け入れを開始、平成19年には3団体の研修受け入れを行いました。白石島では平成13年から旧小学校の講堂を利用して、古くから行われていた機織りを復活させると共に、旧運動場の遊休地を利用して綿の栽培や島の草木で染めも行うなど一貫した機織り工房として再生し、現在は体験メニューとして白石島の観光プランに組み込まれるようになりました。



神戸の中学校の夏季キャンプを島に誘致

## 支社事業 高島支社

平成14年度から空家対策事業を手がけ、平成15年夏にインターネットで全国募集、翌16年1月にマスコミに取り上げられ3ヶ月足らずで4つの空家にIターン者が決まりました。また、特産品加工の部門では地元で繁茂している竹に注目し、手作りの本格的な釜を整備し、竹炭の製造を手がけています。

## 白石支社

綿作りや機織りの地域の特産品づくりを行うと共に、高齢者のための代行システム「助っ人クラブ」を立ち上げ、島民のニーズに対応しています。平成18年から岡山大学との共同研究で環境保全プログラムの実践の場として環境保全の取り組みを行っています。

## 北木支社

1300人と笠岡諸島では一番人口の多い島。面積も広いので海上交通のみならず、島内交通の整備が急務であったが、平成18年10月に島内限定で過疎地有償運送事業の認可を受け、現在自前で10人乗りバンによる島民の輸送事業を展開しています。

## 飛島支社

古くから藪椿が群生しており、椿油を収穫していたが、近年途切れ、中学校の総合学習のテーマとして復活、平成15年より「椿油搾取機」を導入し、零細ながら椿油搾りを復活させ、現在では島を挙げての椿を活かした島づくりを行っています。



椿油搾りに合わせて陸地部からも研修に

## 真鍋支社

花の島として名を馳せていた真鍋島は、高齢化のために花の生産農家が減少し、平成13年ごろからそれに変わる作物として「ゴーヤ」作りをはじめ、現在では島の特産品として県下の生産地になっています。真鍋島ではゴーヤを使った加工品も試作、製品化し「干しめゴーヤ」「ゴーヤうどん」「ゴーヤ飴」「ゴーヤジャム」「ゴーヤの佃煮」等を生産しており、ほとんどが70歳以上のため所得獲得よりも、健康増進、遊休地の活用といった性格が強いようです。

## 六島支社

水仙と灯台で知られる人口85名足らずの島で、島民を上げて自生する水仙を移植するなどの作業をすすめ、水仙の島としての整備を年次的に行っています。水仙の咲く1月から2月の間には地元有志が定期的に軽食のサービスをするなどして観光客をもてなしています。

## 6島の連携から陸地部への展開へ

笠岡諸島の島づくりの方法は島々がその個性を認め合って、それぞれに島づくり海社の支社を設けて独自の事業を展開しつつ、笠岡諸島全体としてのつながりで本社事業を行っています。「しまべん」等についても各島で競争しながら作り上げ、販売等についてもお互いに協力し合って全体で売るといった体制づくりができています。平成19年9月5日に笠岡諸島の特産品を販売するアンテナショップ「ゆめポート」が笠岡市の駅前商店街の一角にオーブ

ン。なかなか手に入らなかった「しまべん」も定期販売や島の特産品が陸地部で気軽に買えるとあって評判は上々。販売ルートの確立により、地域の特産物の掘り起こしや島にあった作物の新しい栽培等に大きな期待がかかっています。



9月5日に駅前商店街に笠岡諸島アンテナショップ「ゆめポート」をオープン。陸と島との接点としての機能を果たす

## 今後の展開

笠岡諸島の島づくりのみならず、地域づくりにはコーディネーターの存在が求められています。島づくり海社はこれまで各種事業を手がけてきましたが、この事業により人が雇用できるビジネスになるか否かが大きくこれからの活動を左右します。私たちのNPOは笠岡諸島の地域づくりをサポートする組織として、本来行政が担う部分もかなり肩代わりしている部分もあり、今後とも地域を持続可能なものとするためにも行政との連携(資金面・人材面)を密にすることが必要です。

空家対策に関しては地域を担う人材の確保と共にIターン者が生きがいを持って暮らせる仕組みづくり(「地域での仕事づくり」)を行うと共に、現在陸地部で精力的に活動を行っている方の誘致により島からの情報発信とそのノウハウにより島に新しい風を吹かして欲しいという期待感があります。そして、人材確保の面からは、今後島に必要な資格を有する人材の優先やその働く場所の確保、各種サポートを進める体制づくりが求められています。島づくりの活動が本格化して10年、これまで島づくりの活動を中心に引っ張ってきた年代、特にその活動を支えていた年代が70代後半になってきました。今後はより地域に密着した福祉・医療に関する事業が特に求められてくると思われます。そのためにはその財源となる資金の調達が大きな課題となってきます。

